

連載第10回 横浜市会議員 たけのうち猛 市民とともに

熊本地震の教訓①

我が家の耐震対策を考える

九州・熊本地方で発生した大地震は、多数の死傷者を出しました。亡くなられた方々のご冥福をお祈りすると共に、被災者の皆さまに、心よりお見舞いを申し上げます。

私もお実家が大方にあることから、多くの方から心配頂き、お声

を掛けて頂きました。温かい真心に感謝致します。

Q. いまだに混乱が続いています。

A. 今回の地震の特徴は「広域で連続して発生しており、前例のないもの」(気象庁)であり、大規模地震の発生確率も、東海・関東地方と比較して決して高くないとされていた地域でした。あらためて、震災の予測し難いこと

が実感されました。Q. 非常に不安です。

A. 特に今回、相次ぐ余震により家屋の倒壊で犠牲になった方が多く、建物の耐震化の重要性が再認識されました。横浜市内の建物の耐震化率は89%で、主に築30～40年以上の建物の耐震化が進んでいません。高齢の所有者が多く、改修や建替えを躊躇されているからです。横浜市として建替え・改修支援も行っていきますが、個人の負担額の重さが大きな障害です。そこで、昨年改定した「横浜市耐震改修促進計画」では、

促進に力を入れていきます。一般的な設置費用は30～300万円程度。様々な種類があり、横浜市として防災ベッドには10万円、耐震シエルターには30万円を限度として補助金を出しています。

(詳しくは、横浜市建築局建築防災課まで。) Q. 多くの方に利用して頂きたいですね。

A. また、前震で一度は避難をしたものの、自宅に戻ったところ、本震、余震に遭遇し、犠牲になった方も多数おられます。耐震化しているから絶対に安心ということはありません。土砂崩れによる犠牲者も多く、がけ地の多い横浜市も更なる警戒が必要です。



横浜市会議員
たけのうち猛
＜ご相談・ご連絡先＞
公明党金沢支部事務所：
金沢区富岡西 3-38-1-101
TEL：080-9804-9782
FAX：045-345-4345
info@takenouchi-takeshi.com
http://www.takenouchi-takeshi.com/

家の耐震化の更なる促進と並行して、比較的安価な防災ベッドや耐震シエルターの利用